

令和5年度 第2回大津市バリアフリー推進協議会 議事録

日時：令和5年11月8日（水）14：00～

場所：大津市役所 新館7階 大会議室（山側）

1 開会（事務局）

定刻となりましたので、ただいまから令和5年度第2回大津市バリアフリー推進協議会を開催させていただきます。皆様方におかれましては、ご多忙のところ、ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて、大津市におきましては、皆様のご協力のもと、平成23年3月にバリアフリー基本構想を策定いたしまして、重点整備地区の「JR大津駅・京阪浜大津駅周辺地区」と「JR膳所駅・京阪膳所駅周辺地区」を中心にバリアフリー整備を進めているところでございます。

本日は、現行の大津市バリアフリー基本構想については簡潔に説明したのち、次期バリアフリー基本構想等の策定に向けた考え方について事務局よりご報告させていただき、構成員の皆様とご協議させていただければと考えております。各委員のお立場から貴重なご意見をいただきたく、何卒ご協力のほど、お願い申し上げます。

それでは、ただいまから、会議を始めたいと存じます。

座長よりご挨拶をいただきたくお願い申し上げます。

2 あいさつ（座長）

本協議会は、高齢者や障害をお持ちの方をはじめとして、移動に支障を感じる方々が安全かつ制約を感じることなく市民生活を送ることができるよう、関係の機関が相互に連携しながら、平成23年3月に策定されました「大津市バリアフリー基本構想」にのっとり事業の進捗を図り、それぞれの役割を果たしてきております。

今回の会議ですが、現行の大津市バリアフリー基本構想につきまして簡潔に説明させていただきます。その後、令和5年度から6年度にかけて大津市が作成される次期バリアフリー促進方針及び基本構想の考えについて事務局から説明いただいた後、皆様からご意見をいただければと思っております。

それぞれの立場から、地域におけるバリアフリーをめぐる課題について共有いただき、本協議会として総括しながら、協議を深め、解決に向けた提案ができればと思っております。

委員の皆様方におかれましては、今日の会議が実り多いものとなりますよう、積極的なご発言とともに、円滑な進行に協力賜りますようお願い申し上げます。

3 議題

【議題（１）バリアフリーに関する取組】

【議題（２）現行の大津市バリアフリー基本構想について】

座長：まず議題の（１）、（２）につきまして事務局から説明をお願いいたします。

（全体資料に基づき、事務局から説明）

座長：議題の（１）、（２）につきまして、何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。

（質疑）

委員：石山駅はＪＲの駅の中で乗降客が一番多いが、今後基本構想に位置付ける予定はないのか。

事務局：現バリアフリー基本構想が令和６年度末で終期を迎えるため、次期バリアフリー基本構想策定の中で、次にどこをやっていくべきかというところを今後皆様とご議論させていただき重点整備地区を再設定していく。

【議題（３）次期大津市バリアフリー基本構想等について】

【議題（４）大津市の現況】

座長：議事（３）と（４）につきまして説明をお願いいたします。

（全体資料に基づき、事務局から説明）

座長：議事（３）と（４）につきましてご説明いただきましたが、何かご質問、ご意見等がありましたらお願いいたします。

（質疑）

座長：鉄道駅以外で、人が多く集まるような施設や地域はあるのでしょうか。鉄道駅に絞って考えていいのでしょうか。

事務局：ＪＲ線が市街地に沿って運行しており、それぞれの拠点ごとに駅がある。その各駅を中心としてバリアフリーを検討していく必要があるのではないかとことを考えた。駅に限らず、駅から離れた商業施設など、駅以外の拠点についても検討を進めていたが、点的な整備になってしまうため、ＪＲ駅を中心に各施設を結ぶことで面的な整備を目指したい。

委員 : 高齢になり情報がキャッチしにくくなった方たちに、どういう形で情報を届けていくか、といったこともバリアフリーの考え方の中に入れてもいいのではないかと。

事務局 : 法改正においても心のバリアフリーが新たに追加されており、ハードだけでなくソフト面についても理解を深めていくため、教育や啓発について国の指針として掲げられている。高齢者の方に対する情報共有をどう扱っていくか、次期バリアフリー計画の中で議論させていただきたい。

委員 : 公共施設では、まだ和式トイレも残っているようだが、実態は把握されているのか。

事務局 : 次期基本構想等においても、関連施設として位置づける施設については、トイレの状況を調べる必要があると思っている。それを特定事業として事業化するかどうかというのは今後の協議になると思う。

座長 : バリアフリートイレ以外にも、どんな施設があるか現状を把握して更新していくとよい。

【議題（５）次期大津市バリアフリー基本構想等の策定の進め方】

座長 : 議題（５）の説明をお願いします。

（全体資料に基づき、事務局から説明）

座長 : 議事（５）につきまして何かご質問、ご意見等がありましたらお願いいたします。

（質疑）

委員 : J R 石山駅は、高架駅に分類されるのか。また J R 大津駅はどう評価されるのか。

事務局 : 石山駅は橋上駅という位置づけをしている。上下移動のバリアフリー化が必要か、エレベーターが設置されているかという指標により評価している。

座長 : どういう理由で選んだかを明確にするという意味では、高架化かそうでないかより、ホームと駅舎がフロアが違うというほうが分かりやすい。

事務局 : 橋上駅というのも上下移動が必要になりますので、今のご意見を参考に検討させていただく。

座長 : 近い距離の駅を対象にした場合には、隣接した駅も含めて1つのエリアになるという考え方でいいか。

事務局 : 現時点では、地区の中心となる拠点を選定しており、選定後に徒歩圏内の地区を選定することになるため、近接する駅ということであれば同じ地区に入ってくる。

委員 : 今後も増えていくと思われる無人化の状況について、把握はできているのか。

事務局 : 各駅のバリアフリー化の状況を調査しており、駅員常駐の有無は把握している。今後、重点整備地区、促進地区を選んでいく中でどういった対応ができるのかというところも協議していきたい。

委員 : 無人化に関しては、京阪のほうが無人駅が多い。特に唐橋前駅は、課題が多いと感じる。

事務局 : 具体的に唐橋前駅を出していただいたが、どうしていくかというのは市全体の方針の中でも示すことができると考えているので、検討させていただく。

座長 : 1つの促進地区の中に重点整備地区が2つ3つある、といった形もあり得るという理解でいいか。

事務局 : 促進地区を選定し、生活関連施設と生活関連経路を選んでいく中で、どういった重点整備地区を設定するかというのは議論させていただきたい。

(質疑)

座長 : 選定のための配点はどのように決めているのか。

事務局 : 乗降客数が多いということは必然的に障害者の方、高齢者の方も比例的に多くなるため、「駅平均乗降客数」は重要と考える。

「生活関連施設候補数」については、駅からその拠点まで高齢者、障害者が歩かれる数が多いか少ないかに直結すると考えて点数を高くした。

「上下移動のバリアフリー化」は、大きな点数をつけてエレベーターの設置等を推進していく必要があると考えた。以上の3つについては10点満点とし、その他は3点、2点と設定した。

委員 : 合計が42点満点と中途半端である。

高齢者を65歳以上ではなく後期高齢とすることも検討してはどうか。

事務局 : 42点満点は、確かに中途半端である。

後期高齢者の件も参考にさせていただく。

座長 : 例えば10年後か20年後の高齢者数の予測データがあれば参考になるのではないか。

事務局 : 調査して参考にさせていただく。

座長 : 駅自体をバリアフリー化する話と、周辺のまちをバリアフリー化する話と別物という気がする。具体的な整備計画を作っていくときに、選んだ理由を考えていただく

とよい。

事務局：参考にさせていただく。

【議題（６）生活関連施設、生活関連経路の設定方針について】

【議題（７）関係団体ヒアリングの実施について】

【議題（８）まち歩きの実施について】

座長：議題（６）から議題（８）につきまして説明をお願いします。

（全体資料に基づき、事務局から説明）

座長：議題（６）から議題（８）につきまして、何かご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。

（質疑）

座長：生活関連施設は候補全てを対象にするのではなく、これから決めていくということでしょうか。

事務局：候補の中から高齢者、障害者がよく使われる施設を地区ごとに選んで位置づけていく。今後当協議会で議論していただくことになる。

委員：病院は、20床以上の病床を有するものと挙げているが、ベビーカーで行く小児科などもあるため、選定の際には検討いただきたい。

事務局：そういったところも参考に今後検討させていただく。

座長：具体的な対象施設を選んでいけるとよい。エリアの中で何があって、どんなふうに使われているか確認できるとよい。

事務局：地域の実情に応じて選定させていただいたく。

4 その他

座長：その他ということで、本日ご出席の委員の皆様から何かございましたらお願いします。

委員：まち歩きについては、早めに調整をお願いしたい。

湖西線の4駅、比良等の高架部分の基本構想を今回策定されるということもあり、何ができるかということを考えたいと思う。

高架駅のほうが優先順位が高いという点は評価される場所であり、今回対象とするところも一定、コロナ前であれば2,000人ぐらい利用のあるところである

ので、そういった点を見定めながら優先順位をつけて一緒に検討させていただければと思う。

事務局：まち歩きについては、早めに計画を立てるので、ご協力をお願いしたい。
高架駅のバリアフリー化は非常に重要だと考えているので、推進していきたい。この構想等の中にもしっかりと位置づけしていく。

5 閉会

事務局：ありがとうございました。本日は長時間にわたりまして色々なご意見、貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。

12月にまち歩き、ヒアリング等のご協力をお願いさせていただきました。それらの結果を踏まえ、生活関連施設、生活関連経路等の素案を次回ご協議させていただきたいと考えております。

以上をもちまして、令和5年度第2回大津市バリアフリー推進協議会を閉会とさせていただきます。誠にありがとうございました。

以上